

草野貞之 くさの けいし フランス文學者。明治二十二年九月四日福岡縣生れ、  
 昭和二十一年一月十一日歿（一九〇一六）。本名貞之 けいし。筆名草野貞、號  
 猥々莊主人。大正十二年東京帝國大學文學部印度哲學科卒、次で佛文  
 科の學ぶ。昭和四年中央大學教授、六年白水社入社（のち社長、更に  
 會長となる）。

著譯書『簡易佛文法』（昭和二年四月一日白水社）、『對譯  
 小彙集』（譯註、昭和二年六月十八日白水社）、『ヤナトオル・フラン  
 ス作のエピキユルの園』（譯、昭和四年十月十五日、改訂版『エピキ  
 ユルの園』七年十月二十日第一書房）、『ヤンドレ・ビネ著『新興佛蘭  
 西文學』・詩・小説・思想』（譯、昭和八年二月十日白水社）、『ヤ  
 リ・ド・レニエ作『水都』描く』（譯註、特價版・昭和七年六月二十  
 日白水社）『佛蘭西文學譯註叢書』（）、『らんすの風俗』（萩原増雄共  
 著、昭和九年五月二十日白水社）『佛蘭西語入門叢書』（）、『ヤンリ  
 ・ド・レニエ作『ヴェニス物語』（譯、昭和十一年九月二十日弘文堂書  
 房『世界文庫』）等。

